

1

2026
Vol.533

ひろがれ人権ネットワーク

隣保館だより

ホームページURL
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sougourinpokan/>



1月15日～21日は、防災とボランティア週間です



今月の「人権の小窓」は、能登半島地震の被災地、石川県珠洲市、輪島市、七尾市で、昨年9月に支援活動を行った市内災害復興支援ボランティアグループ「みきジュニア防災クラブ」の中学生たちの感想をお届けします。

■ 次ページ 「人権の小窓」(284)
能登を忘れない

～みきジュニア防災クラブ災害復興支援ボランティア ルポ～

みきジュニア防災クラブ代表 又吉 健二

■ 裏ページ ・1月隣保館カレンダー ・第42回総合隣保館文化祭を開催

人権の小窓(284)

～能登を忘れない～

みきジュニア防災クラブ災害復興支援
ボランティア ルポ
みきジュニア防災クラブ代表 又吉 健二

1日午後4時10分ごろ
M7.6の地震発生

震源



令和6年1月1日に発災した能登半島地震では、津波、大規模火災、そして豪雨災害など未曾有の災害となりました。～能登を忘れない～をテーマに発災から1年9ヶ月が経った珠洲市・輪島市・七尾市でのボランティア活動や視察を通して、中学生が感じたことをまとめました。

又吉 健二 (またよし けんじ)

- ・みきジュニア防災クラブ代表
- ・元神戸市中学校長
- ・元流通科学大学参与（ゴルフ部GM）
- ・文科省海外派遣 オーストリアザルツブルグでコミュニティスクールについて学ぶ
- ・保護司(更生保護ボランティア)
- ・防災士(日本防災士機構)
- ◇趣味はオカリナ、三線、ギター演奏
- ◇阪神淡路大震災を経験した者として、震災を語りつぎ、全国の被災地に災害復興支援ボランティアとして赴いています！



「進む復旧 復興はまだ手つかず」 自由が丘中学校3年 磯上 加弥

私は、実際に石川県の奥能登（珠洲市、輪島市）へ行き、ボランティアで四十住圭子（あいづみけいこ）さんというおばあちゃんの家のお手伝いをしました。

ガラスは割れ、家の中はぐちゃぐちゃで、家を取り壊すために家具を移動するお手伝いをしました。現地の状況を見て復旧は進んでいるけれど復興はまだできていないということが分かりました。

車で道路を走っていると、ガタガタした道が多くあり、道の復旧にはまだ時間がかかるのかなと思いました。また、多くの家にブルーシートがかかっていたり、家が崩れたままになっていたりしました。

仮設住宅が多く、まだ自分の家に帰れない人がたくさんいることも知りました。震災から1年9ヶ月も過ぎて、修復されたところ、されていないところがあることを自分の目で知ることができました。



「完全復活した水族館に感動」 自由が丘中学校3年 羽間 雄飛

水族館の中にはたくさんの魚やペンギン、イルカ、アザラシなどいろいろな生き物がいました。とても楽しいイルカショーも観覧しました。

以前、ユーチューブで見た生物が4,000匹死んだり、県外に避難したりする状況とは全く違っていて、動画で見るより規模も大きくなりニューアルされているのにびっくりしました。

能登半島地震で、多くの種類の魚が死んでしまったけれど、水族館の入り口には「完全復活、ただいま」と書かれた文字があり、能登半島地震から1年9ヶ月を経て、ようやく元の姿に戻れた水族館を見ることができてよかったです。





「活気を戻そうと頑張る住民」 自由が丘中学校1年 山田 莉緒

輪島の朝市に行き、一番驚いたのはお店が一つもなかったことです。地震とその後の火災で焼け落ちたことは事前学習で知っていたけど、こんなにお店がないとは思ってもみませんでした。

今は、がれきがなくなり、雑草がびっしりと生えていました。折れ曲がったままの電信柱、焼け焦げた看板を見ると火事の恐ろしさが分かりました。でもそこには、1本だけ焼けなかった木が立っていました。奇跡的に助かれた木。地域の人は、この木だけは残しておこうと心に決めたそうです。

朝市から少し離れた場所にあるスーパーに少しだけお店が出ていて、皆さんちょっとずつ以前のような活気を取り戻そうと頑張っていました。

「前向きな歌が被災者を支える」 自由が丘中学校3年 山田 蓮

奥能登（石川県輪島市町野町）にある「もとやスーパー」は、創業80年の歴史があり、まちで一つしかない市民の生命線となっているスーパーで、地域の人との結びつきがとても強いです。

社長のお話を聞き、震災の被害の大きさに驚きました。約2メートルも浸水し、窓ガラスはほぼ全てが割れ、床は泥だらけになったそうです。印象的だったのは「被災者が避難している最中に動画を撮るのは悪ではなく、現状を全国に発信するために必要」という言葉です。また、「上を向いて歩こう」のような前向きな詩やダンスは、被災者の心の支えになるという話にも心を打たされました。



みきジュニア防災クラブの紹介

《目的》

☆小中高校生が『防災士資格』取得を目指す!!

1. 災害復興支援ボランティア活動を通して、優しさと思いやり、行動力のあるリーダーになる！
2. 地域や社会の課題や問題を考え実践、人とのふれあいを大切にしコミュニケーション能力を高める！

《活動実績》

- ◇宮城県仙台市、名取市、石巻市、南三陸町 3.11追悼式典参加
- ◇佐賀県武雄市 築137年 国有形文化財修復作業
- ◇岡山県真備町 写真洗浄ボランティア
- ◇長野県長野市千曲川決壊現場 災害ゴミ撤収、避難所運営
- ◇石川県珠洲市、輪島市、七尾市 家財の移動、傾聴ボランティア



1月

隣保館カレンダー

2026 Happy New Year!

日 月 火 水 木 金 土

				1 元日	2 休館日	3 休館日
4	5	6 経営・職業相談 10:00~	7	8 手芸サークル 13:00~	9 経営・職業相談 10:00~	10
11	12 成人の日	13 経営・職業相談 10:00~	14	15 人権相談 13:00~ (三木市街所)	16 経営・職業相談 10:00~	17 書を楽しむさらさら教室 13:00~ 防災とボランティアの日
18	19 スマートフォン体験講座 13:30~	20 経営・職業相談 10:00~	21	22 手芸サークル 13:00~	23 経営・職業相談 10:00~	24 茶道教室 13:30~
25 世界ハンセン病の日	26 エアロビクス講座 14:30~	27 経営・職業相談 10:00~	28	29	30 経営・職業相談 10:00~	31

第42回総合隣保館文化祭を開催

「つなごう手と手、築こう心のかけ橋を」のスローガンのもと、第42回総合隣保館文化祭を12月6・7日（作品展示は3日～7日）、総合隣保館で開催しました。6日の子どもたち全員集合・前夜祭に引き続き7日の隣保館講座生・各団体による作品展示や各種販売、記念講演、舞台発表、抽選会などに昨年を上回るのべ500人以上がつどい、人権文化を発信する良い機会となりました。

12/6

子どもたち全員集合・前夜祭

子どもたち全員集合
楽しいゲームに挑戦



だいかぐらし ほうらい やたまのすけ
太神楽師 豊来家玉之助さん
「ああ～めでたい！ふれあい夜神樂」



12/3~7

作品展示

保育所・こども園・小・中・特別支援学校、教育事業、茶道教室、手芸サークル、書道教室、市内団体等から書、ポスター、手作り作品等を多数展示



12/7

記念講演会・舞台発表

人権劇「小さな声から立ち上がりよう」



ダンス

演奏

記念講演「太鼓といのち」
太鼓屋六右衛門 杉本大士さん



人権啓発紙「隣保館だより」1月号

令和8年1月1日発行

三木市市民生活部人権推進課 編集

〒673-0501 三木市志染町吉田823

三木市立総合隣保館

TEL 0794-82-8388 FAX 0794-82-8658

E-mail:jinken@city.miki.lg.jp